# 第 7 講　日本の諸地域（九州・中国・四国地方）

## Step 1

1　次の問いに答えなさい。

(1)　九州中央部に連なる山地を何というか。

(2)　日本海を南から北に流れる暖流を何というか。

(3)　筑後川流域に広がる，九州を代表する稲作地帯である平野を何というか。

(4)　次の文章中の空所をカタカナで埋めよ。

「1960 年代後半から，高速道路や空港周辺に IC〔集積回路〕工場がつくられたため，九州は（　　　）とよばれる。」

(5)　沖縄県では，第一次・第二次・第三次産業のうち，どの産業の占める割合が最も高いか。

(6)　有機水銀を原因に水俣病が発生した水俣市は，何県の都市か。

(7)　中国地方のうち，なだらかな中国山地の北側，日本海に面した地域を何というか。

(8)　本州四国連絡橋 3 ルートの開通などにより，四国地方と関西・中国地方の大都市とのつながりが強くなる一方，四国地方の経済の衰退を招く側面もあった。このような現象を何というか。

(9)　かつて高知平野で行われていた（現在ではほぼ行われていない），同じ田で米を年に 2 度つくることを何というか。

(10)　「二十世紀」などの品種が，鳥取県でさかんに栽培されている果物とは何か。

(11)　日本海側で有数の水揚げ量を誇る，鳥取県の漁港とはどこか。

(12)　タオルの生産で有名な，愛媛県の都市とはどこか。

## Step 2

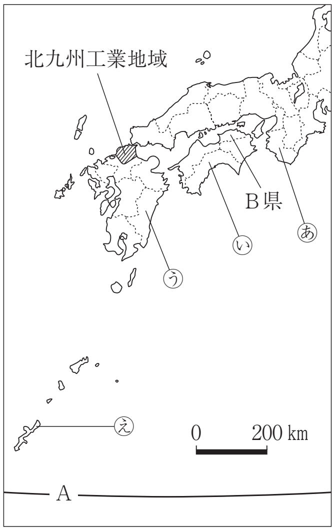
2 右の地図１を見て，1～4 の問いに答えなさい。

1 地図１中の線Ａは，緯線を示している。線Ａが表している緯度として適当なものを，ア～エから一つ選び，その記号を書け。

ア 北緯 15 度　　イ 北緯 25 度　　ウ 北緯 35 度

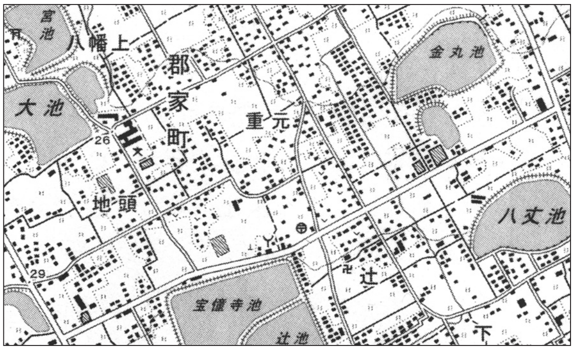
エ 北緯 45 度

地図１



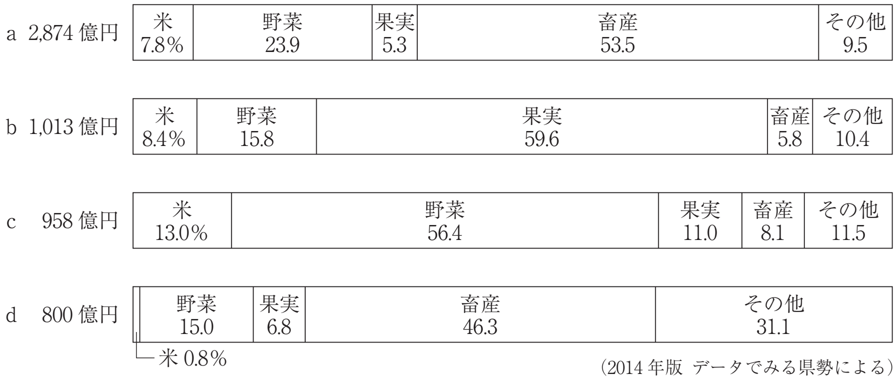

2 地図２は，地図１中のＢ県の一部の地域を表した地形図である。この地域では，稲作を行う上でどのような工夫がされているか，簡単に書け。ただし，**降水量・ため池・農業用水**の三つの言葉を用いること。

地図２




（国土地理院平成 24 年発行の地形図による）

3　次のa～dのグラフは，それぞれ，地図1中のあ～えのいずれかの県の，2011年における，農業生産額と，品目別の割合を表したものである。aのグラフに当たる県を，あ～えから一つ選び，その記号と県名を書け。




（2014年版 データでみる県勢による）

4　次の表は，地図1中の▨印で示した北九州工業地域と，瀬戸内工業地域，阪神工業地帯のそれぞれの，2008年における，工業製品出荷額の工業別の割合，工業製品出荷額の総額と，1960年における工業製品出荷額の総額を表したものである。表中のⅠ，Ⅱは，それぞれ瀬戸内工業地域，阪神工業地帯のいずれかに当たり，X，Yは，それぞれ金属，化学のいずれかに当たる。阪神工業地帯に当たるものと，化学に当たるものの組み合わせとして適当なものを，ア～エから一つ選び，その記号を書け。

| 項目 ＼ 工業地帯・地域 | 2008年 | | | | | | | 1960年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 工業製品出荷額の工業別の割合（%） | | | | | | 総額（兆円） | 総額（兆円） |
| | 機械 | X | 食料品 | Y | せんい | その他 | | |
| 北九州工業地域 | 38.2 | 20.1 | 18.0 | 9.5 | 0.7 | 13.5 | 8.6 | 0.6 |
| Ⅰ | 38.2 | 23.0 | 9.3 | 17.9 | 1.6 | 10.0 | 34.7 | 3.2 |
| Ⅱ | 36.6 | 20.3 | 6.6 | 25.0 | 2.2 | 9.3 | 33.3 | 1.2 |

（経済産業省資料による）

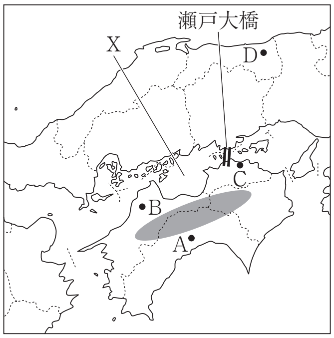
ア　ⅠとX　　イ　ⅠとY　　ウ　ⅡとX　　エ　ⅡとY

【愛媛県】

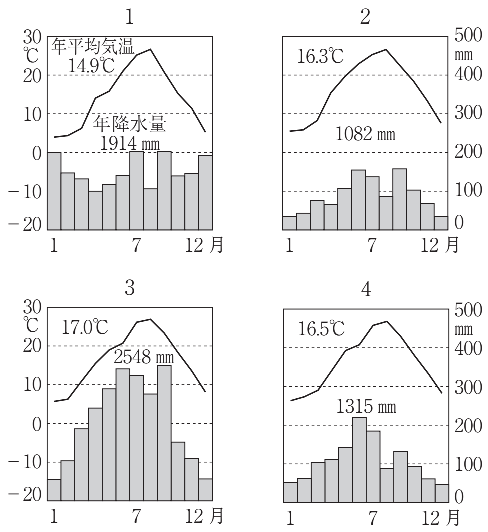
## Step　3

3　右の略地図や資料を見て，次の(1)～(4)に答えなさい。

略地図




(1)　次の 1～4 は，略地図中の県庁所在地である A～D のいずれかの雨温図を表している。このうち，A について表しているものを一つ選び，その番号を書きなさい。



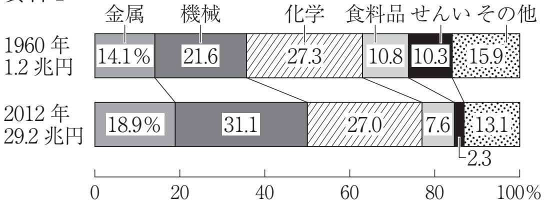

〔「理科年表平成 27 年版」による〕

(2)　略地図中の ⬬ に広がる山地を何というか，書きなさい。

(3)　略地図中の X は瀬戸内海を表している。次のア，イに答えなさい。

ア　資料 1 は，瀬戸内工業地域の工業生産の変化を表している。資料 1 から読みとることができる内容として**適切でないもの**を，あとの 1～4 の中から一つ選び，その番号を書きなさい。

資料 1




〔「日本国勢図会 2015／16」などによる〕

1　1960 年にくらべて，2012 年の化学の生産額は 20 倍以上になった。
2　1960 年にくらべて，2012 年は金属の割合が高くなり，せんいの割合が低くなった。
3　1960 年にくらべて，2012 年の食料品の割合は低くなったが，生産額は高くなった。
4　1960 年にくらべて，2012 年の重化学工業の割合は 2 倍以上になった。

イ　瀬戸内海では，たまごからふ化させて稚魚，稚貝をある程度まで育てたあと，放流する漁業を行っている。このような漁業を何というか，書きなさい。

(4)　資料 2 は，中国・四国地方の各県の人口，面積，農業生産額，年間商品販売額を表している。略地図中の瀬戸大橋でつながっている本州側と四国側の県として適切なものを，資料 2 中の 1～4 の中からそれぞれ一つずつ選び，その番号を書きなさい。

資料 2

| 県名 | 人口（千人） | 面積（km$^2$） | 農業生産額（億円） | 年間商品販売額（億円） |
|---|---|---|---|---|
| 鳥取 | 574 | 3507 | 665 | 13482 |
| 1 | 1924 | 7115 | 1242 | 51817 |
| 山口 | 1408 | 6112 | 640 | 35487 |
| 2 | 1395 | 5676 | 1262 | 35374 |
| 高知 | 738 | 7104 | 930 | 15932 |
| 徳島 | 764 | 4147 | 1002 | 16615 |
| 3 | 981 | 1877 | 747 | 39805 |
| 4 | 2833 | 8479 | 1021 | 118684 |
| 島根 | 697 | 6708 | 552 | 14214 |

〔「日本国勢図会 2015／16」などによる〕

【青森県】

〈 ***Note*** 〉

# 第 7 講　日本の諸地域（九州・中国・四国地方）

## Step　1

1　⑴ 九州山地　⑵ 対馬海流　⑶ 筑紫平野　⑷ シリコンアイランド　⑸ 第三次産業
⑹ 熊本県　⑺ 山陰(地方)　⑻ ストロー現象　⑼ 二期作　⑽ 日本なし　⑾ 境(港)
⑿ 今治市

## Step　2

2　１．イ　２．降水量が少ないので，ため池により農業用水を確保している。(同意可)
３．(記号) ㋒　(県名) 宮崎(県)　４．イ

## Step　3

3　⑴ 3　⑵ 四国山地　⑶ ア．4　イ．栽培漁業　⑷ (本州側) 1　(四国側) 3